愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	進路指導論（小学校）		
担当者(Instructors)	石井 尚	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

教育課程における進路指導・キャリア教育の位置づけを習得し、学校教育活動全体で取り組む組織的な指導体制と家庭や関係諸機関との連携についても理解する。具体的な職業体験活動を核とする進路指導・キャリア教育のカリキュラム・マネジメントについて検討する。個々の児童・生徒が抱える課題を明らかにして、自己評価としてのポートフォリオ活用やキャリア・カウンセリングの手法についても学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式および小集団のディスカッションによるグループワークをおこない、小学校におけるキャリア教育の意義と課題について、幅広い視点からの理解を図る。毎回の授業の最後に小レポートを作成し、次の授業の最初にその回の内容に関するディスカッションをおこないながらテーマについて理解を深める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	進路指導の意義と目的、その歩み	教育課程のなかでの進路指導の位置づけを理解し、進路指導がどのような経緯で展開してきたかを検討する。	□
第2回	キャリア教育の意義と目的、その歩み	キャリア教育がなぜ教育課程に導入されたのか、その経緯や社会的背景を理解し、キャリア教育の意義と目的について検討する。	□
第3回	進路指導・キャリア教育の学校段階別継続的発展過程	学習指導要領におけるキャリア教育の意義を理解し、学校段階別の教育課程でキャリア教育がどのように継続的な発展をするかを検討する。	□
第4回	進学の仕組み	学校教育全体で取り組む組織的な進路指導体制と、進路選択の過程について理解し、進路に関する情報リテラシーの育成について検討する。	□
第5回	職業の仕組み	職業観・勤労観を育成するために、具体的な職業体験活動を核とする進路指導・キャリア教育のカリキュラムマネジメントについて検討する。	□
第6回	さまざまな人物のキャリアから学ぶ	さまざまな人物のキャリアを通して、キャリア選択の成果や課題を明らかにして、自分らしい生き方を実現するキャリア発達を検討する。	□
第7回	進路選択とキャリア・カウンセリング	集団を通して指導をおこなうガイダンスや、個別に対応するキャリア・カウンセリングについて理解し、キャリア発達の支援方法を検討する。	□
第8回	小学校における進路指導・キャリア教育の諸課題	小学校において教科や特別活動でどのようにキャリア教育の視点を取り入れていけばよいか具体的に指導案を分析しながら検討する。	□
第9回			□
第10回			□
第11回			□
第12回			□
第13回			□
第14回			□
第15回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の授業の最後に課題を出し、小レポートにまとめて提出する。その課題解答に関連した事後学習を２時間程度行う。授業の最後に次回の

テーマに関するテキストの該当ページを予告し、事前に目を通すことで２時間程度の事前学習を促す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の小レポートについて、次回の冒頭で全体的な傾向と、典型的な小レポートを紹介し、討議の題材にする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	社会全体や労働市場の変化、職業選択の多様化といった現代の状況下で、進路指導及びキャリア教育の意義と目的を理解し、長期的展望に立った人間形成を目指して教員が組織的・継続的に指導援助する過程であることを学ぶ。そして進路指導及びキャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、ガイダンスとカウンセリングの充実に向けた学校内外の組織体制づくりに関する知識を習得することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	進路指導の教育的位置づけを明らかにし、指導方法を提示することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	主体的な実践を通して、実際の進路指導の検討と現実的課題を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

第１回～第７回の課題小レポート：10点×７回＝70点、授業内試験：10点、最終回レポート：20点、合計100点

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	藤田晃之編著『キャリア教育』ミネルヴァ書房	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「小学校学習指導要領」（平成29年3月告示　文部科学省）	
2		
3		
4		
5		